

平成 22 年 9 月 4 日 午後 2 時～4 時 9 月環境部会例会（上野城にて）

「魚を生かす土木の知恵-発想の転換で魚類に配慮した整備事例-」 君塚芳輝

- ①水路の合流は斜めで良い
- ②橋梁のボックスカルバートは深く埋設する
- ③『遊砂地』で河床低下防止
- ④湧水ワンドと緩勾配水路で稀少魚を守る
- ⑤大きなボックスカルバートの中で細流環境を復元する
- ⑥埋立予定の都市河川の護岸を剥がして再生する
- ⑦魚道は真直ぐに
- ⑧感潮域で本川とワンドを魚道で結ぶ
- ⑨水田間の落差に木製魚道⑩図面判断で分る失敗はしない！！



君塚芳輝：フリーの淡水魚類研究者。淡水魚類（ドジョウ、タナゴ類）、東京都。鹿児島県関連→川内川水系田海川堂坂堰の魚道計画をはじめ、頭首工改修に伴う魚道設置の相談にのっていただき、特に、ハーフコーン型魚道の設置数は我が国有数となった。各大学の客員教授、市民学習講座等の講師等で日本全国を飛び歩いている。